

2017年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成29年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者の総計は464件であった。
- ・HIV感染者、AIDS患者は前年と同数であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約38%、AIDS患者が約23%であった。
- ・HIV感染者とAIDS患者の総計を国籍別、性別で見ると、日本国籍男性の割合が最も多く全体の約77%であった。外国籍男性は、前年から15件増加し、過去最多となった。
- ・推定感染経路では、HIV感染者の約90%、AIDS患者の約86%が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きい。
- ・年齢別にみると、HIV感染者報告数は20歳代と30歳代が多く、AIDS患者報告数は40歳以上が約50%以上を占める傾向が続いている。
- ・推定感染地は、国内感染が約81%を占めた。
- ・ニューモシスティス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の約60%を占めている。



相談・検査・療養体制

- ・平成29年、エイズ電話相談件数は、昨年と比べると、約12%増加した。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談者は、性別では男性、年齢では30歳代が最も多く、次いで20歳代が多い。相談内容は、感染不安や感性経路に関するものが多い。
- ・平成29年のHIV検査件数は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室ともに前年より増加した。また、区保健所、多摩・島しょ地域保健所で、陽性件数、陽性率ともに、前年よりも増加した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成29年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付数は前年より514件増加した。

本「AIDS News Letter No. 168（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成29年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV/エイズ電話相談」に名称変更している。

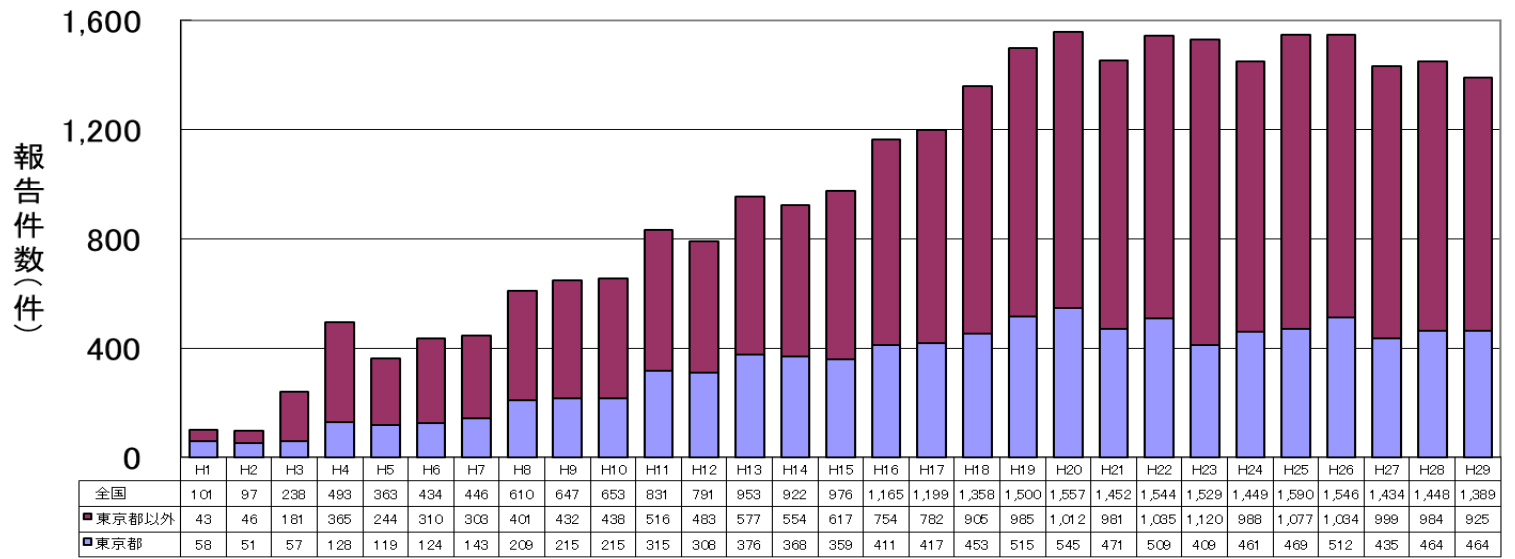
目 次

| I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向 | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|------------------|---|
| P.3 | 1-1 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都と全国の報告数年次推移 |
| | 1-2 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-3 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都の推定感染地別報告数年次推移 |
| P.4 | 1-4 | HIV感染者とAIDS患者の総計 | 東京都の国籍別・性別報告数年次推移 |
| | 1-5 | HIV感染者とAIDS患者 | 東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移 |
| | 1-6 | HIV感染者とAIDS患者 | 全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移 |
| P.5 | 1-7 | HIV感染者とAIDS患者 | 東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移 |
| | 1-8 | HIV感染者 | 全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移 |
| | 1-9 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移 |
| P.6 | 1-10 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-11 | HIV感染者 | 東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-12 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成29年） |
| P.7 | 1-13 | HIV感染者 | 東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移 |
| | 1-14 | AIDS患者 | 全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移 |
| | 1-15 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移 |
| P.8 | 1-16 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-17 | AIDS患者 | 東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移 |
| | 1-18 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（平成29年） |
| P.9 | 1-19 | AIDS患者 | 東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移 |
| | 1-20 | AIDS患者 | 東京都のAIDS指標疾患（平成29年） |
| II 相談・検査・療養体制 | | | |
| P.10 | 2-1 | HIV/エイズ電話相談 | 東京都のHIV/エイズ電話相談件数年次推移 |
| | 2-2 | HIV/エイズ電話相談 | 「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（平成29年） |
| | 2-3 | HIV/エイズ電話相談 | 「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成29年） |
| P.11 | 2-4 | HIV/エイズ電話相談 | 「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（平成29年） |
| | 2-5 | HIV検査 | 東京都のHIV検査件数年次推移 |
| P.12 | 2-6 | HIV検査 | 東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移 |
| | 2-7 | 医療機関 | 東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成23年～平成29年） |
| P.13 | 2-8 | 身体障害者手帳 | 東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移 |
| | 2-9 | 性感染症検査 | 東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成29年） |
| III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数 | | | |
| P.14 | 世界のHIV/AIDS流行状況2017年末現在（UNAIDS/WHO） | | |
| | 日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2017年末現在（厚生労働省） | | |

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

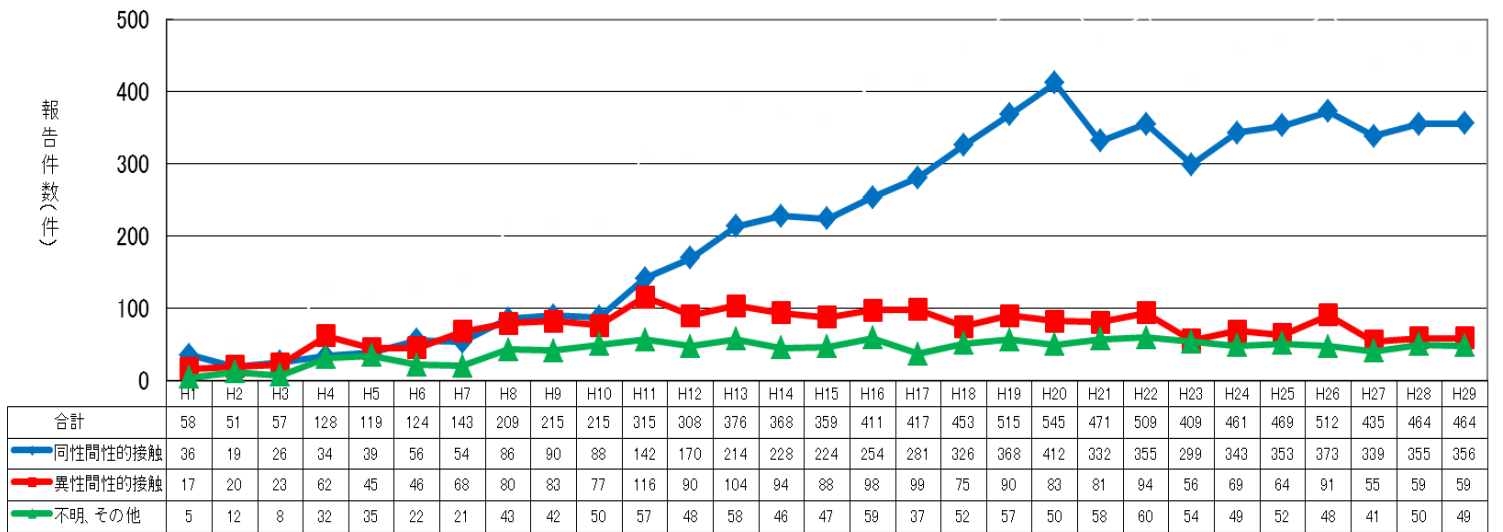
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS)]

1-1 東京都と全国の報告数 年次推移



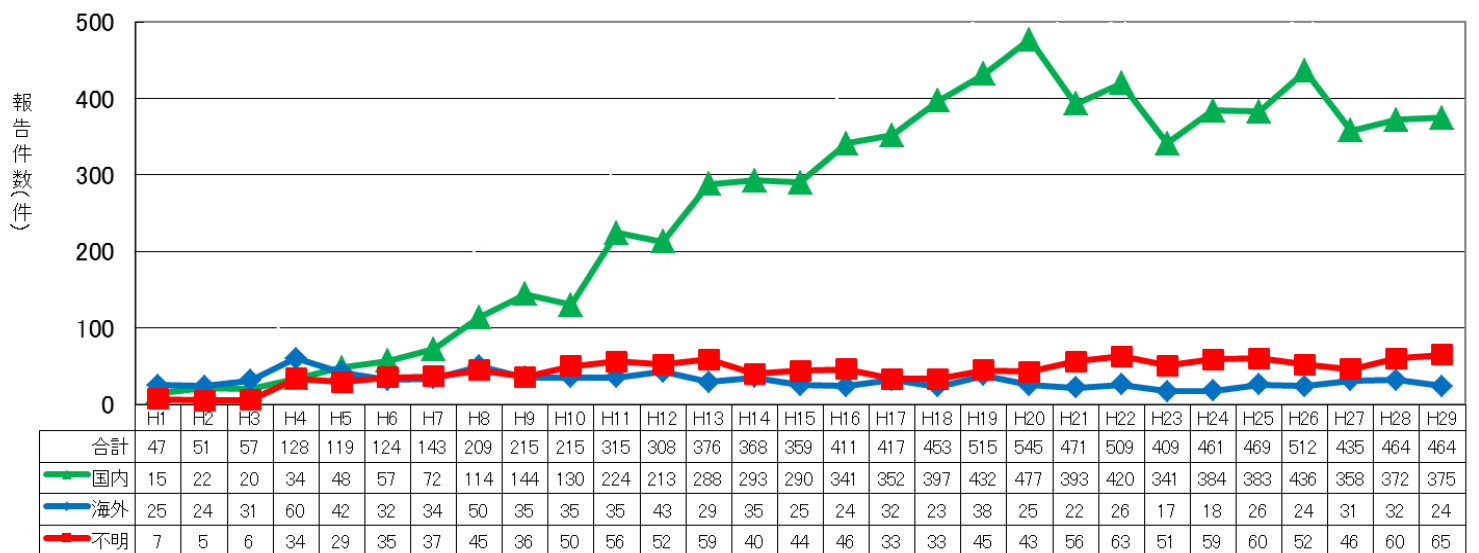
東京都は前年と同数。全国においては前年から59件減少しており、1389件であった。

1-2 東京都の推定感染経路別報告数 年次推移



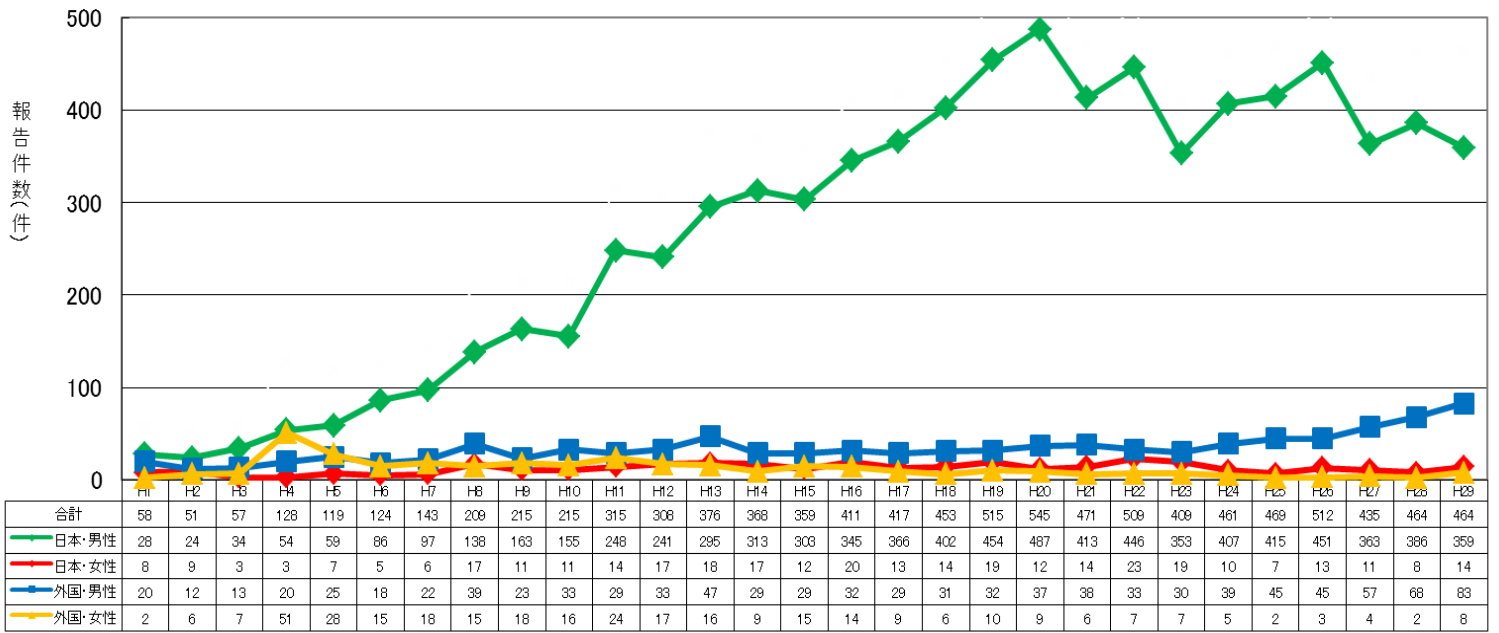
同性間性的接触による報告数は、平成20年の412件をピークに、その後は300~350件程度で推移している。異性間性的接触は、平成23年以降（平成26年の91件を除いて）は、50件~60件程度で推移している。

1-3 東京都の推定感染地別報告数 年次推移



推定感染地別の報告では、国内の報告数は前年に比べ3件増えた。海外の報告数はこの数年、20件~30件程度で推移している。

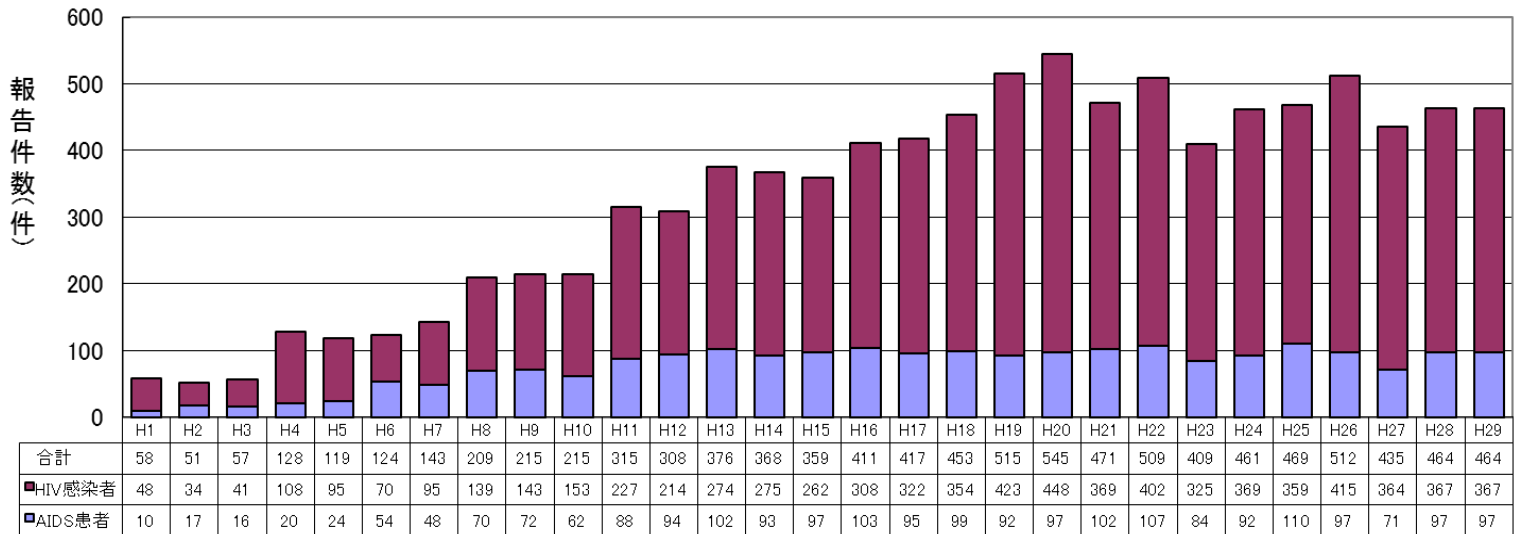
1-4
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



日本国籍男性の報告数が、前年より27件減少している。外国国籍男性の報告数は平成23年より増加し、平成29年は83件と増加が継続している。日本国籍女性及び外国籍女性の報告数に大きな変化はない。

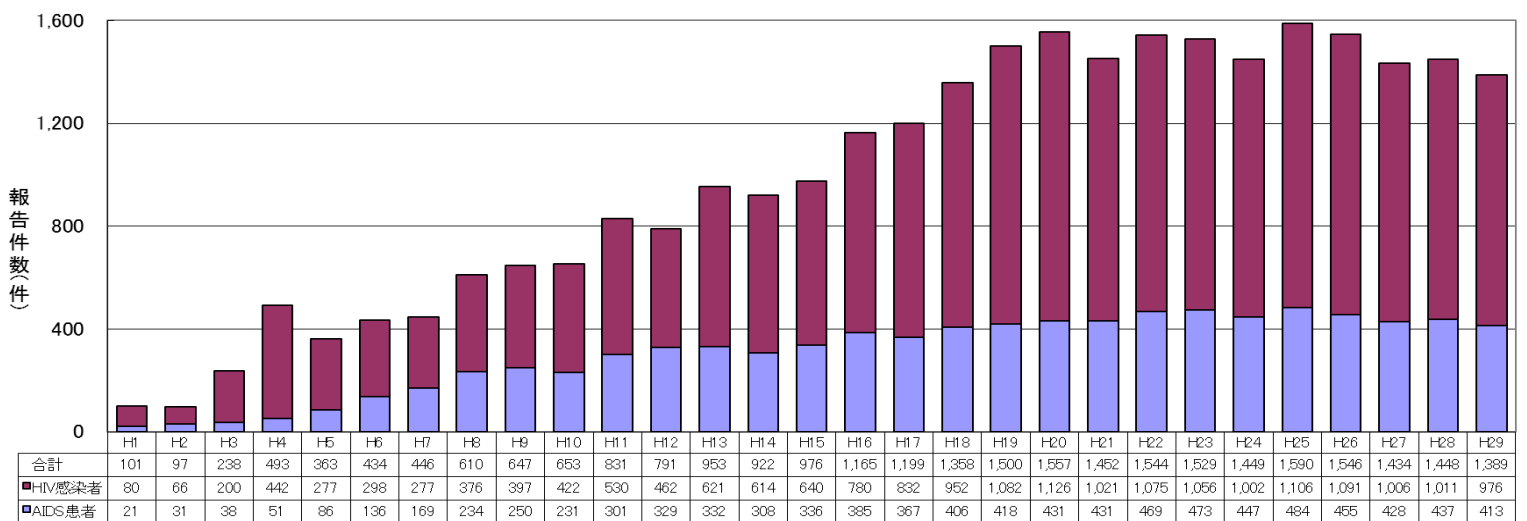
[HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS)]

1-5
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



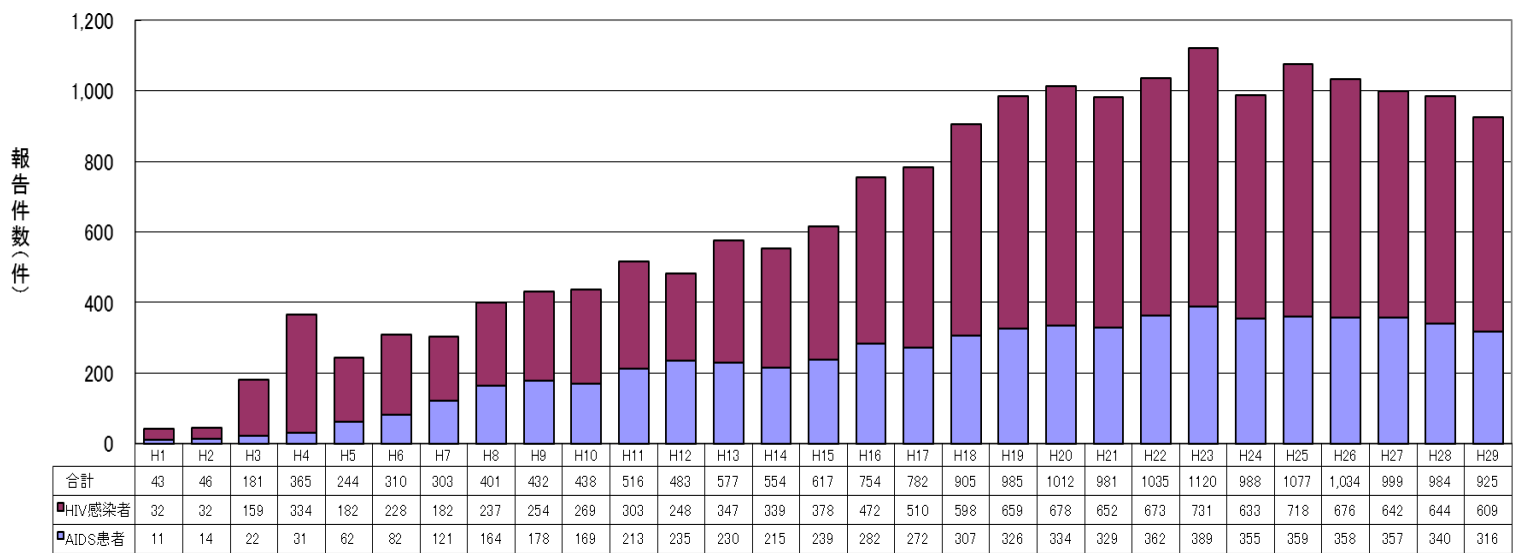
東京都におけるHIV感染者報告数、AIDS患者報告数は、それぞれ前年と同数であった。

1-6
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成19年以降1,000件から1,100件程度で推移してきたが、平成29年は976件であった。AIDS患者報告数は前年比で24件減少した。報告総数の約3割を占める状況は続いている。

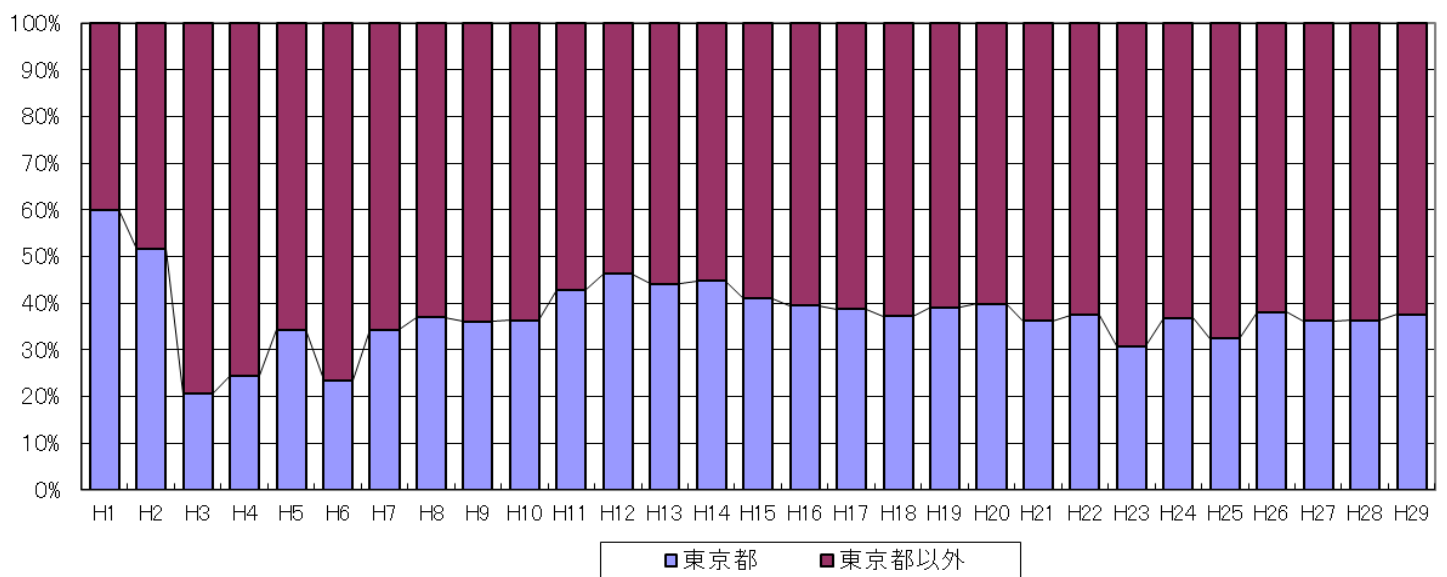
1-7
東京都以外の
HIV感染者とAIDS患者
報告数年
次推移



東京都以外においては、平成29年はHIV感染者は609件であり、前年から35件減少した。AIDS患者は316件であり、前年から24件減少した。

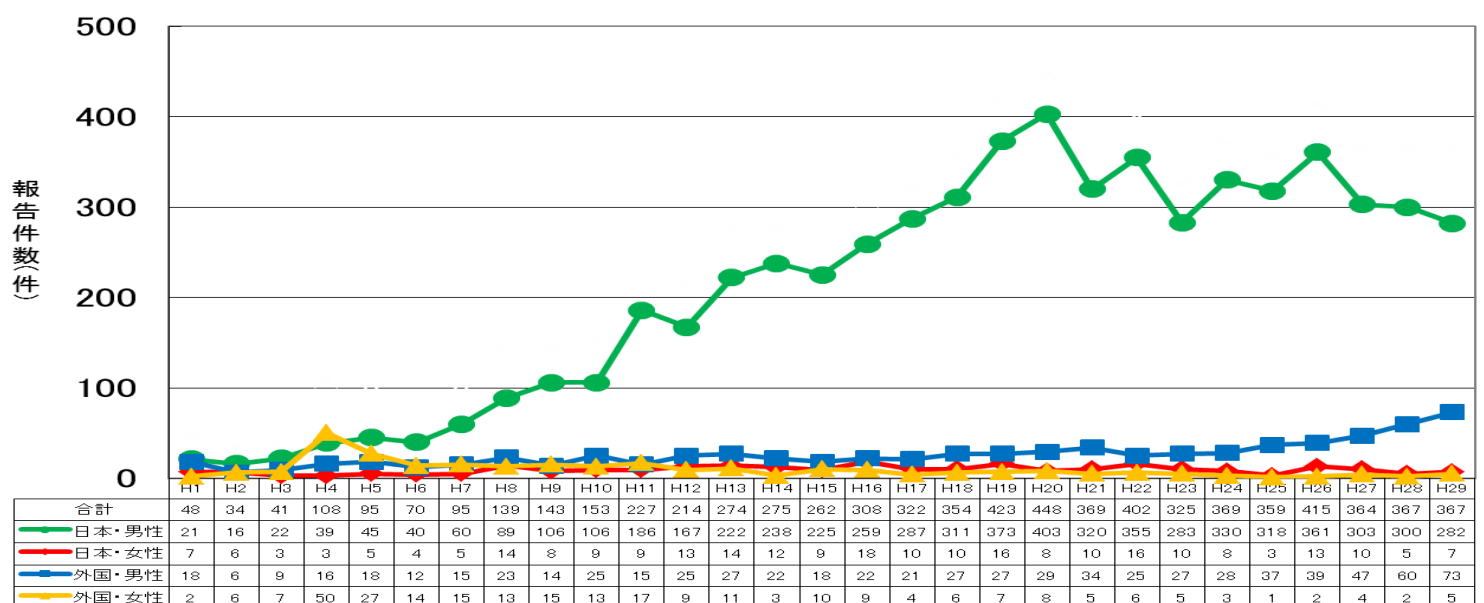
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占める
東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



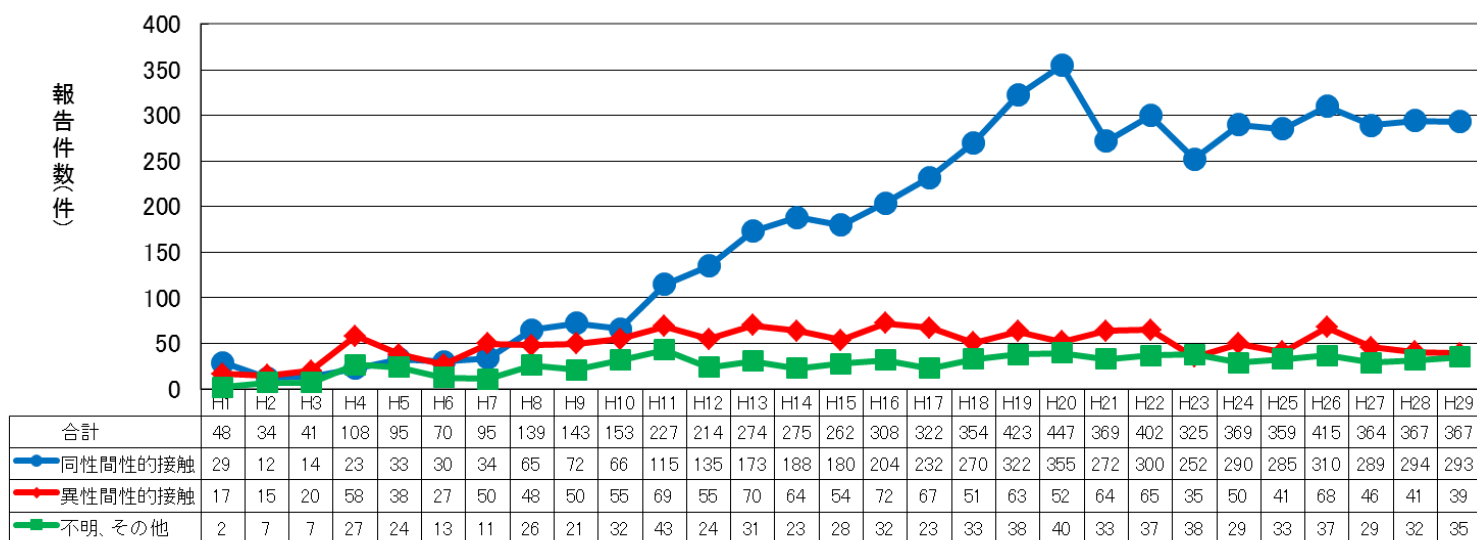
近年、東京都のHIV感染者報告数は、全国の4割弱で推移している。

1-9
東京都の
HIV感染者
の国籍別・
性別報告数
年次推移



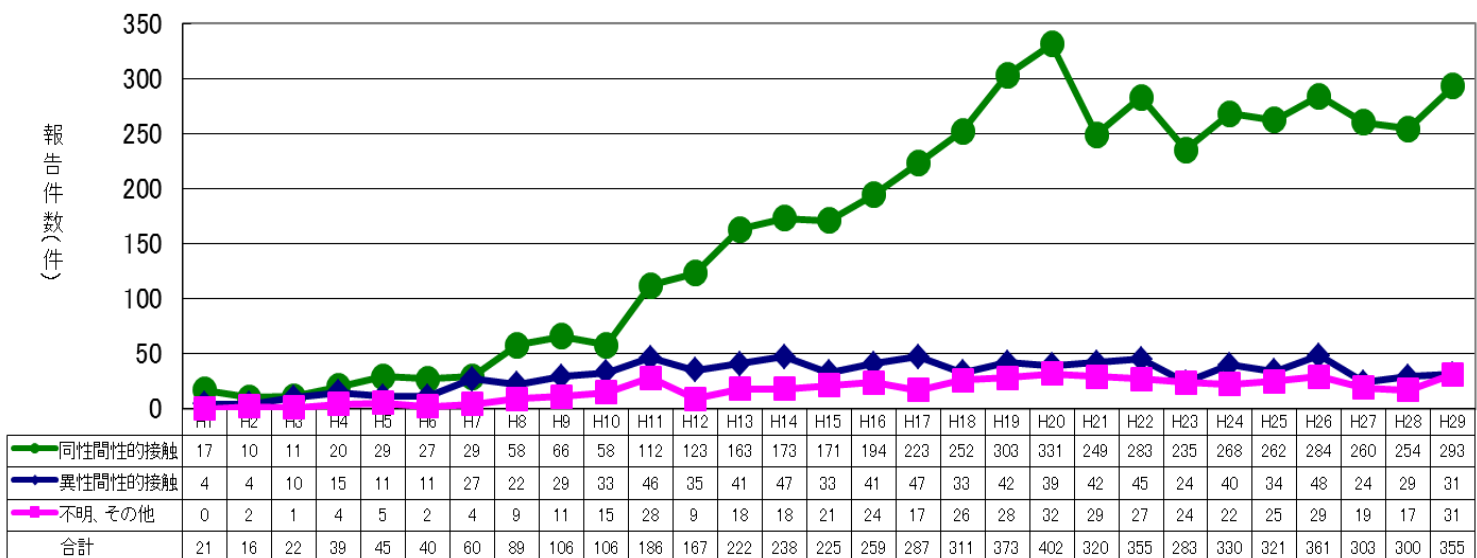
日本人国籍男性の報告数は、平成20年の403件をピークに、その後は300件台で増減を繰り返している。だが、平成29年は282件となり、300件を下回った。外国籍男性は平成22年より増加が継続しており、平成29年は73件であった。

1-10
東京都の
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



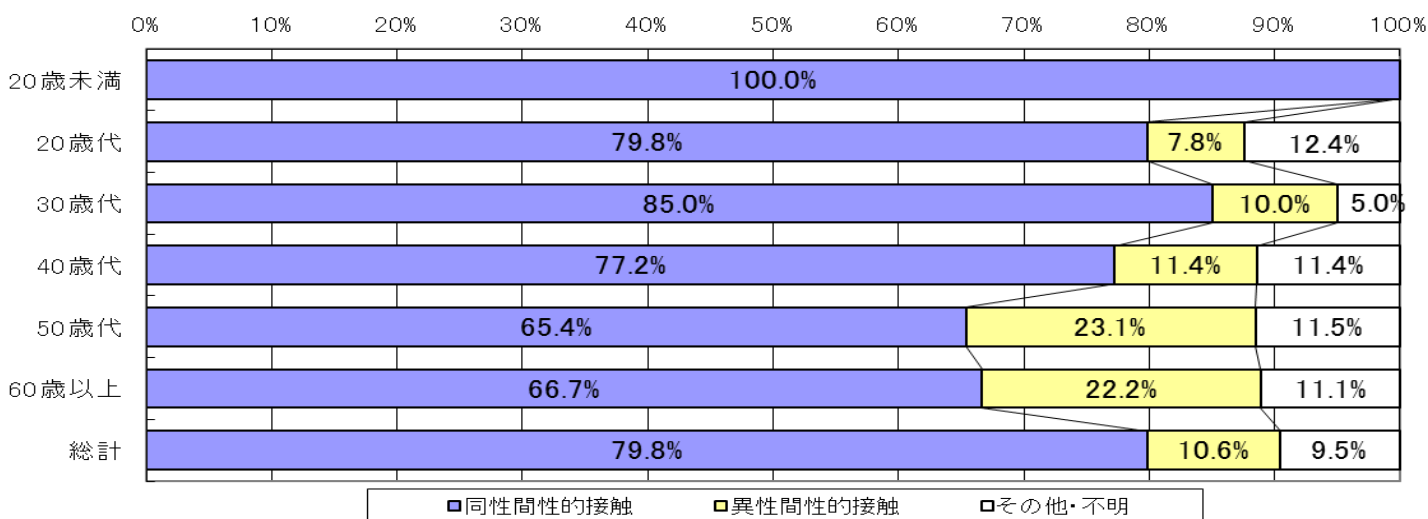
平成16年以降、同性間性的接触の報告数は、平成20年の355件をピークに、その後は300件前後で推移している。

1-11
東京都の日本国籍男性
における
HIV感染者
の推定感染
経路別報告



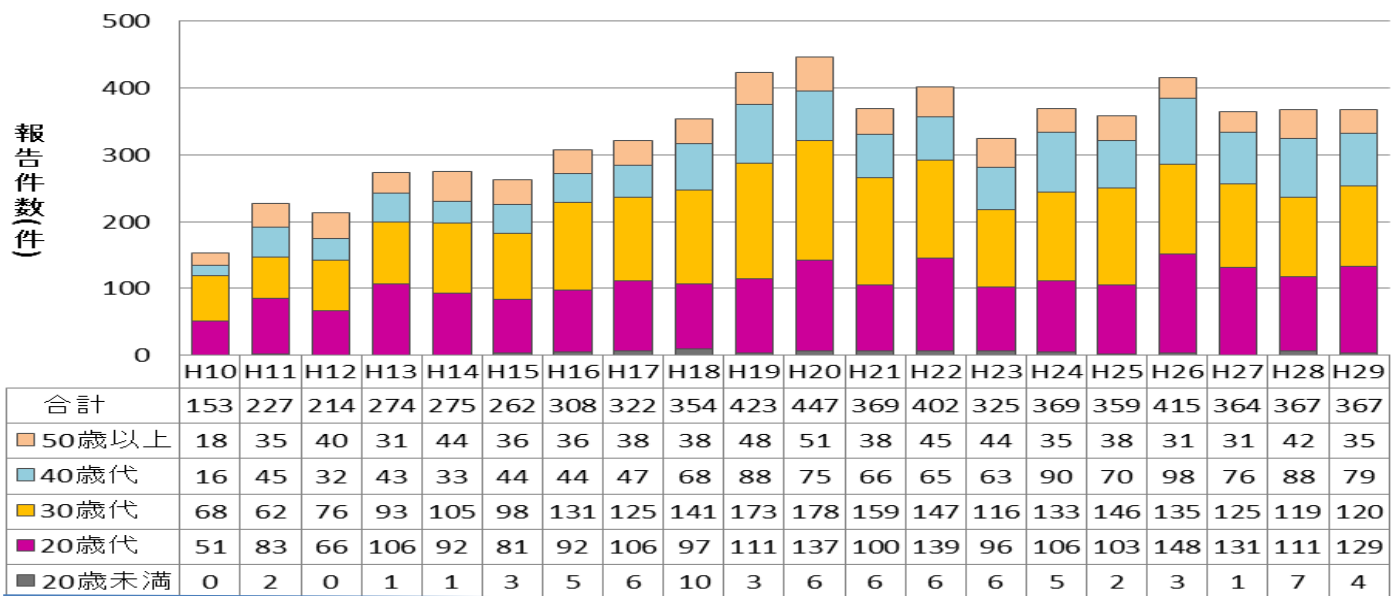
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性の感染経路をみると、同性間性的接触の報告数は、平成20年の331件をピークに、その後は200件台で増減を繰り返している。一方、異性間性的接触の報告数は平成7年以降は20件～40件台で推移している。

1-12
東京都のHIV
感染者の年齢別・推定
感染経路別
報告割合
(平成29年)



同性間性的接触による感染の割合は、20～40歳代では約80%、50歳代及び60歳以上では70%弱を占めている。

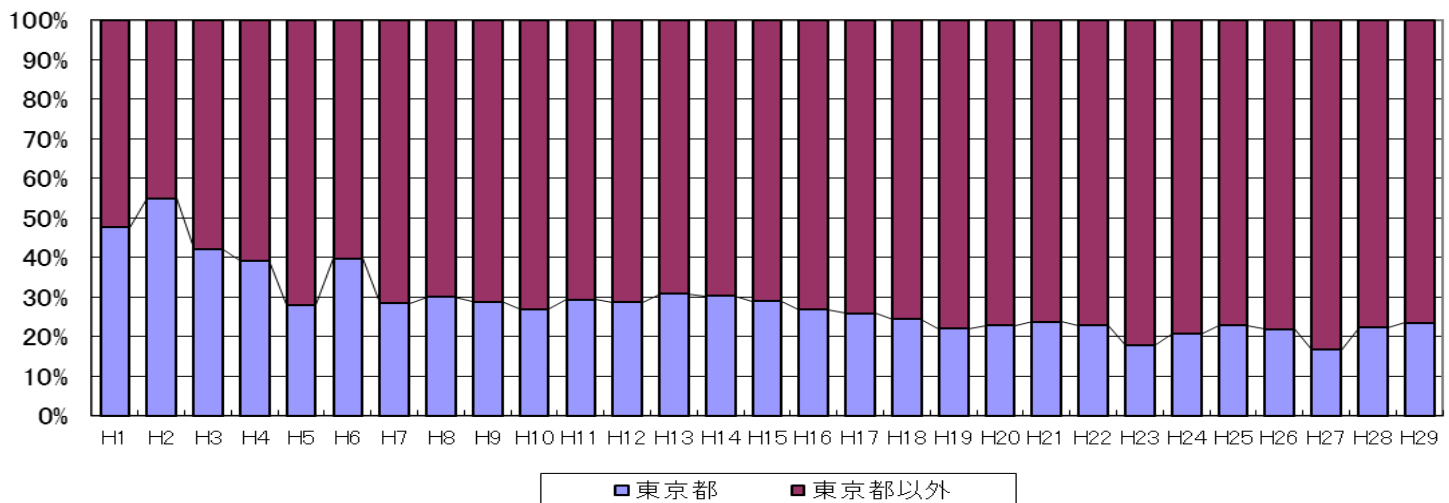
1-13
東京都の
HIV感染者
の年齢別報
告数年次推
移



東京都のHIV感染者の年齢階級別報告数において、20歳代、30歳代の報告数が多い。平成29年は前年に比べ、20歳代で18件増加した。

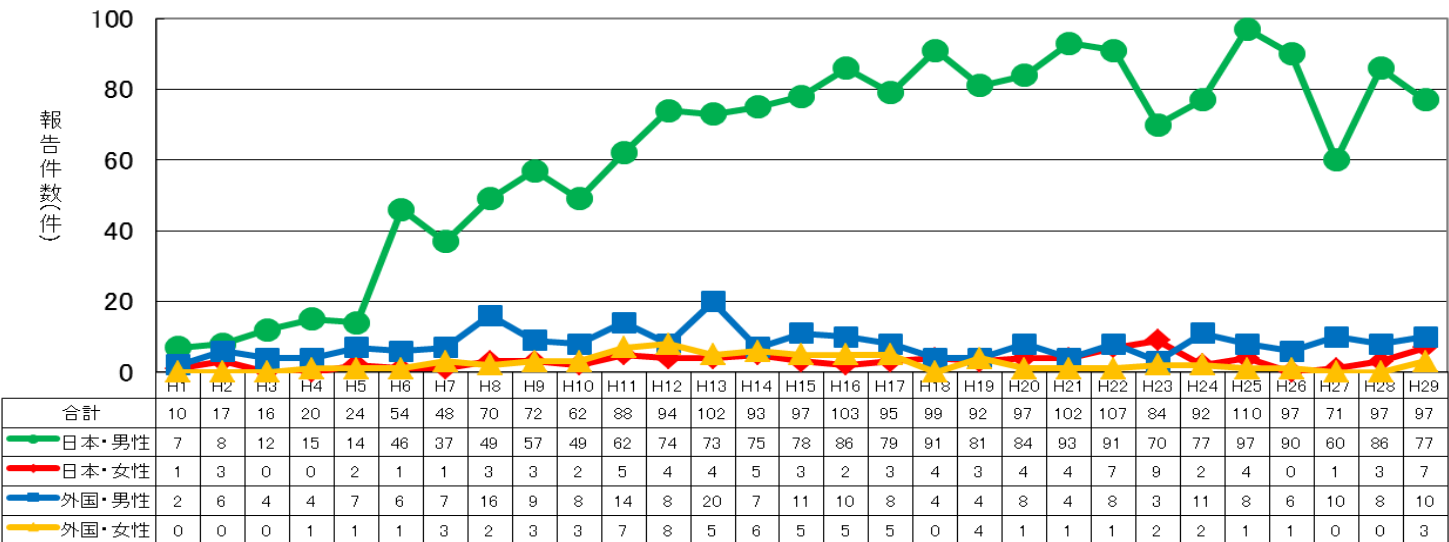
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占め
る東京都の
AIDS患者報
告数割合年
次推移



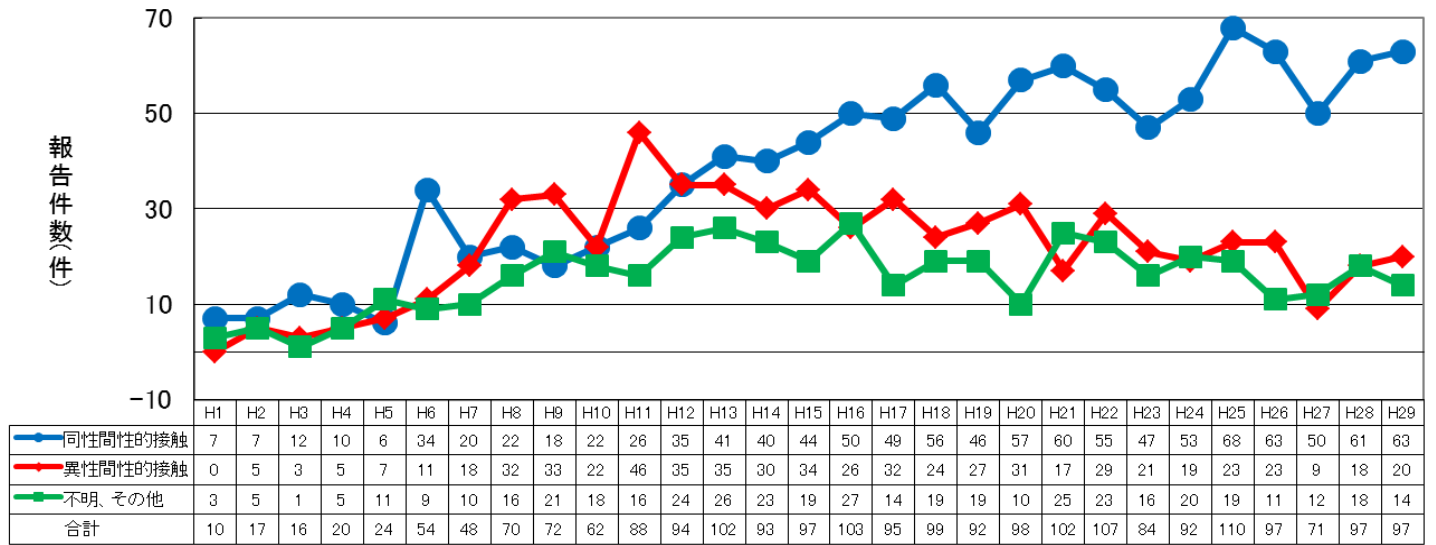
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の報告数の約20%で推移している。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



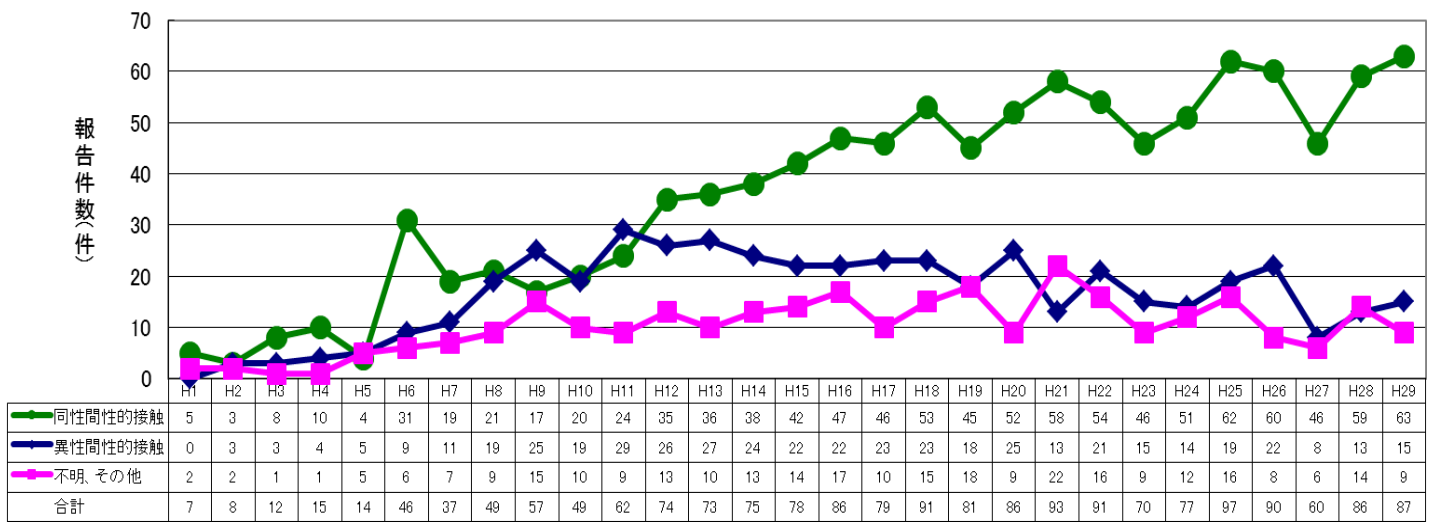
日本国籍男性の報告数は前年に比べ9件減少した。日本国籍女性の報告数は前年に比べ4件増加した。外国籍男性は2件、外国籍女性は3件、それぞれ前年に比べ増加した。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



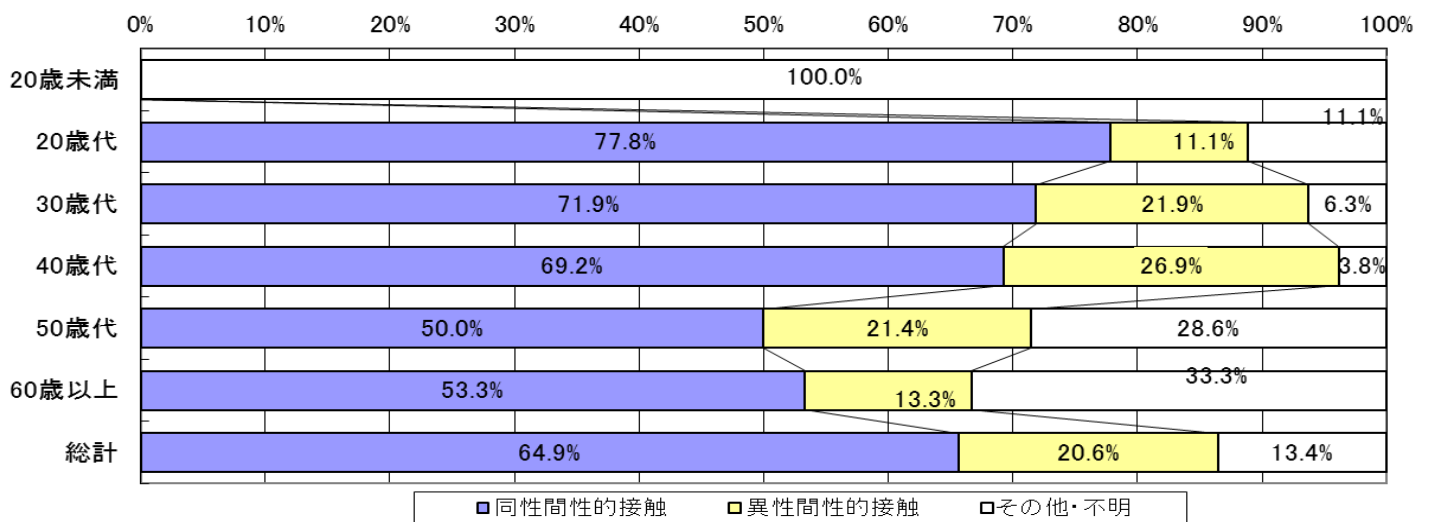
同性間性的接触の報告数は50~60件程度で推移している。異性間性的接触の報告数は平成27年には9件まで減少したが平成28年以降再び増加し、平成29年は20件となった。

1-17
東京都の日
本国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数



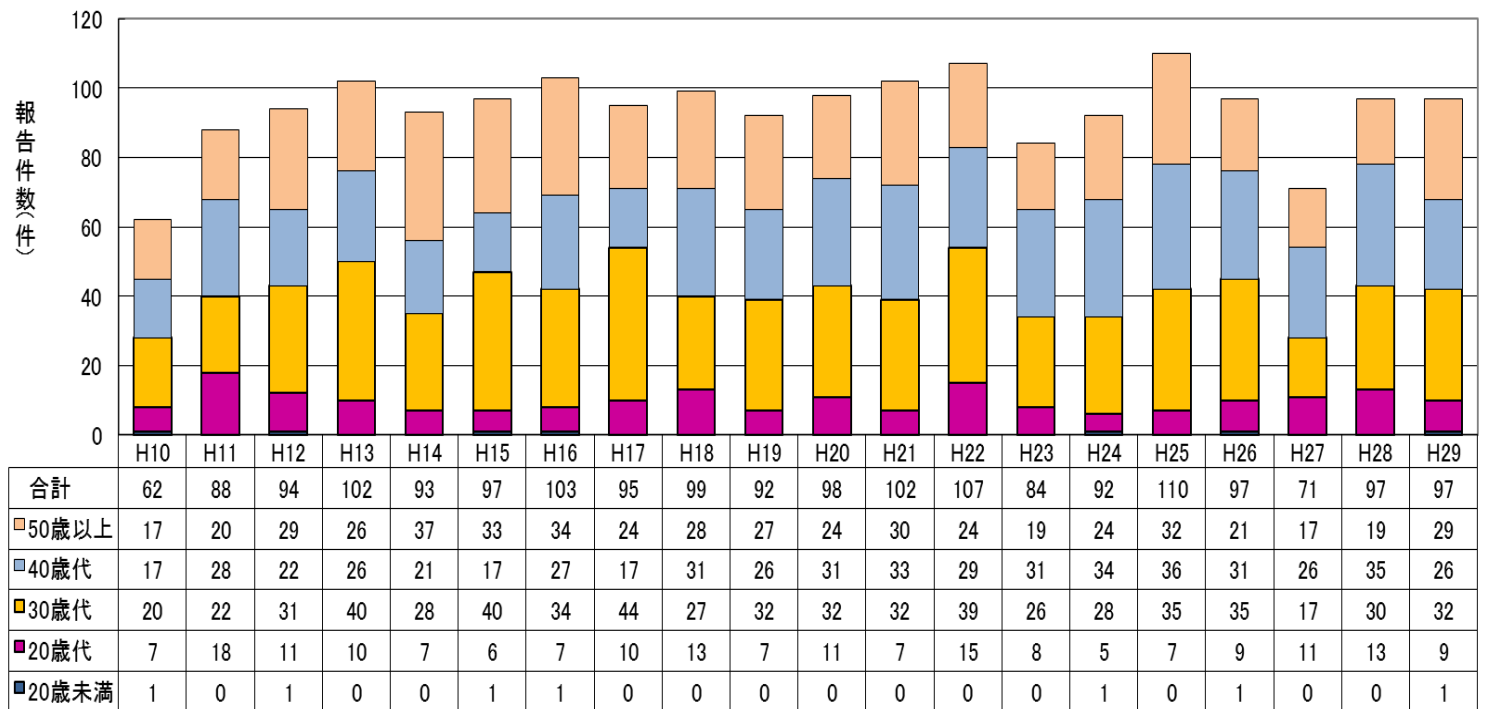
AIDS患者報告数の多い日本国籍男性の感染経路をみると、同性間性的接触の報告数は50~60件程度で推移している。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告割合
(平成29年)



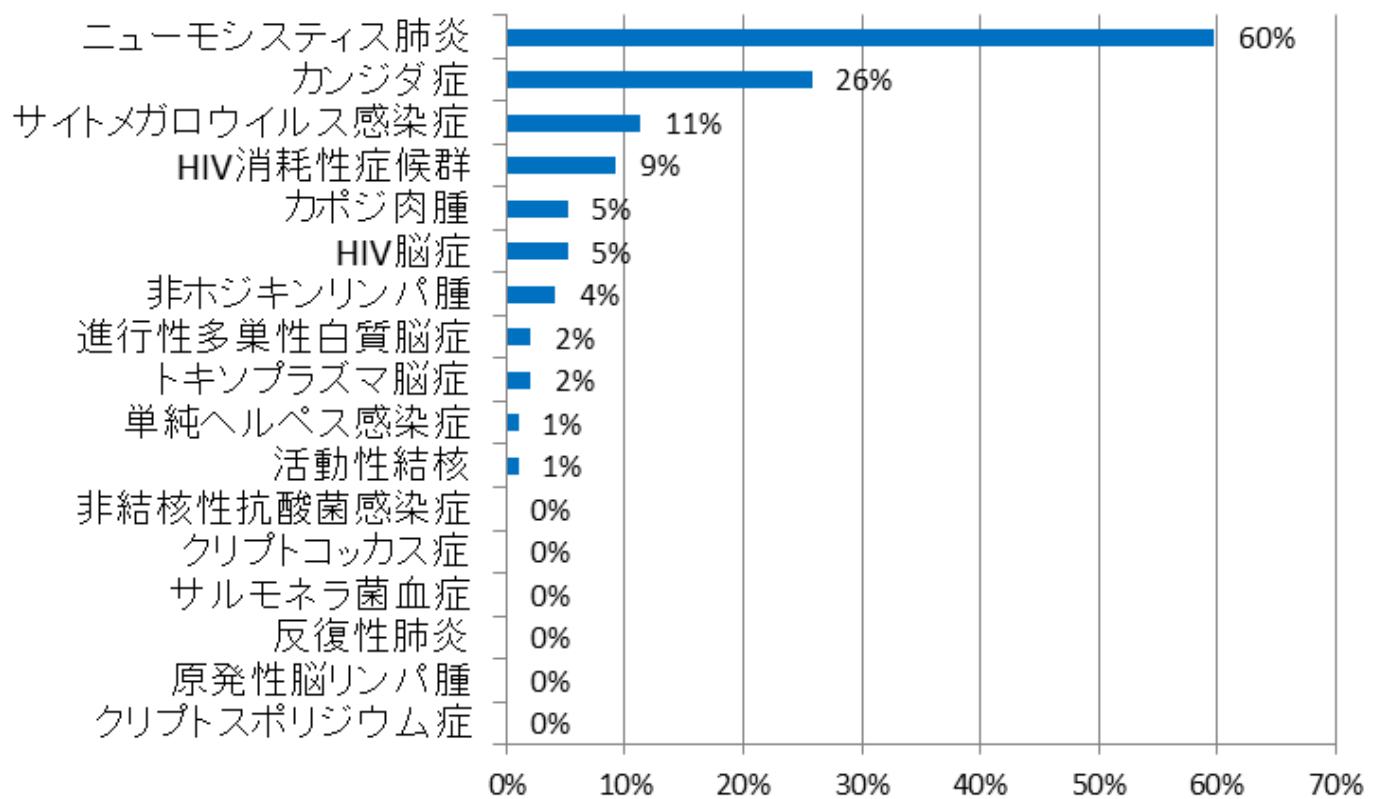
全ての年代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触の割合が大きくなっている。

1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



平成29年は、30歳代、40歳代、50歳以上の報告件数が多い。

1-20
東京都の
AIDS指標疾
患
(平成29年)



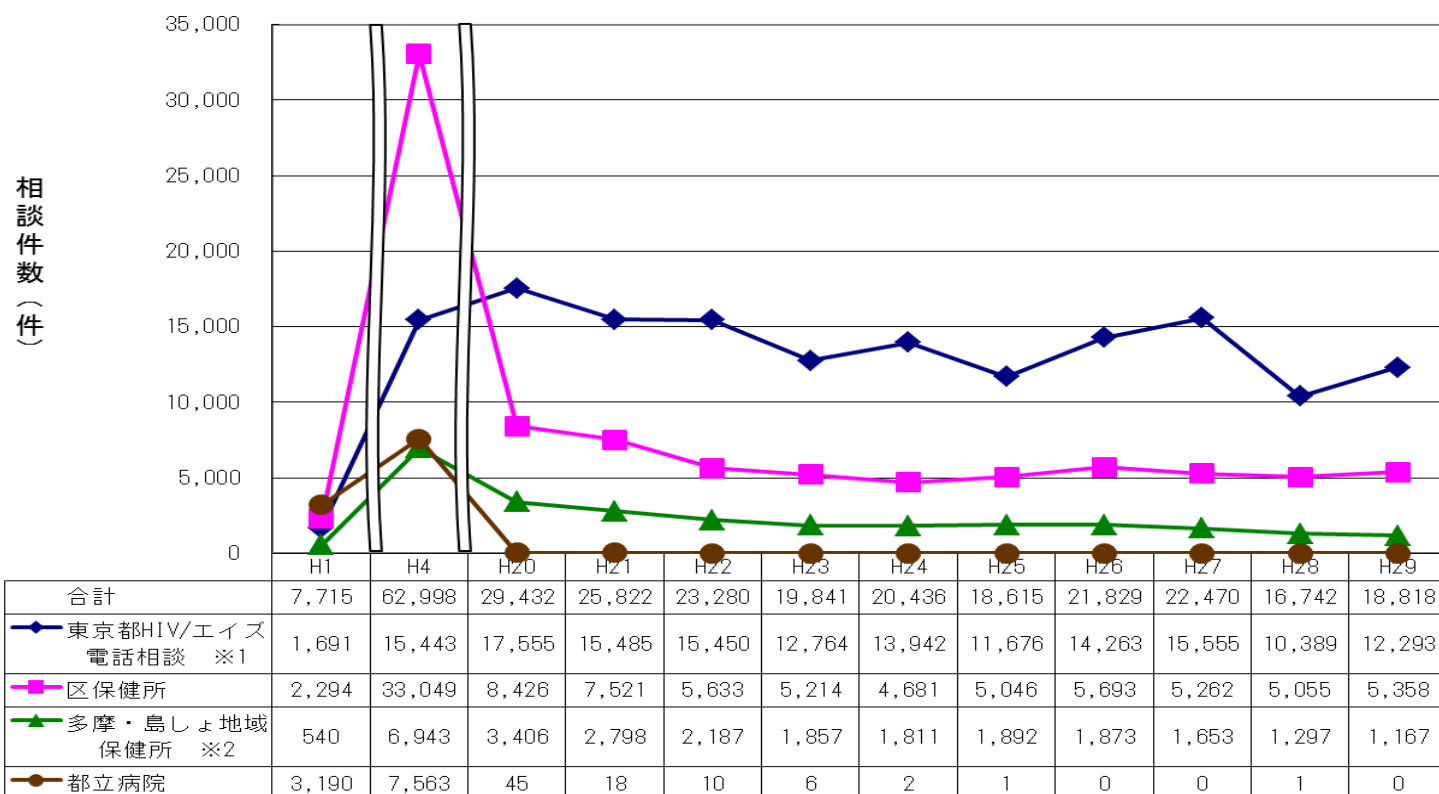
平成29年にAIDSと報告された者の60%がニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いでカンジダ症(26%)、サイトメガロウイルス感染症(11%)、HIV消耗性症候群、カポジ肉腫の順で診断されている。

2. 相談・検査・療養体制

[HIV/エイズ電話相談]

2-1

東京都HIV/エイズ電話相談件数年次推移



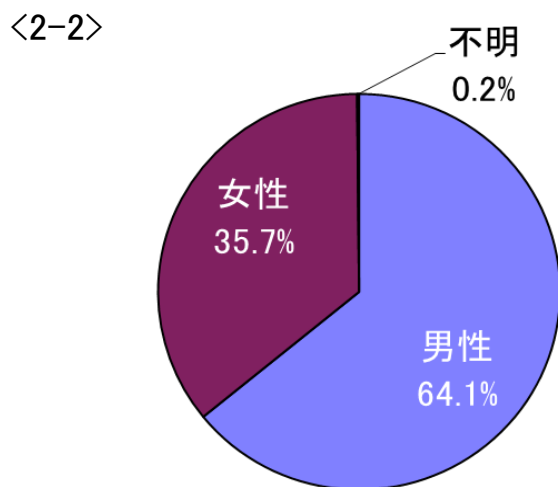
※1 平成10年以前の「東京都エイズ電話相談」件数には、エイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。

※2 八王子市（平成19年4月より）、町田市（平成23年4月より）は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後減少し、その後は横ばいの状況が続いていた。平成20年以降にやや減少した後、平成27年までは2万件前後で横ばいの状況が続いていた。平成28年に過去最低の件数に落ち込んだが、平成29年は、全体で18,818件となり、昨年と比べ12.4%増加した。

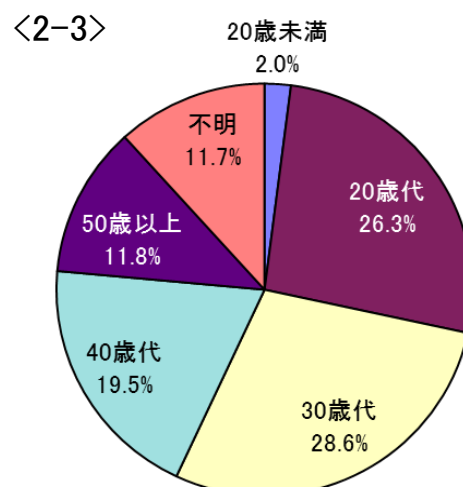
2-2

「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（平成29年）



2-3

「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成29年）

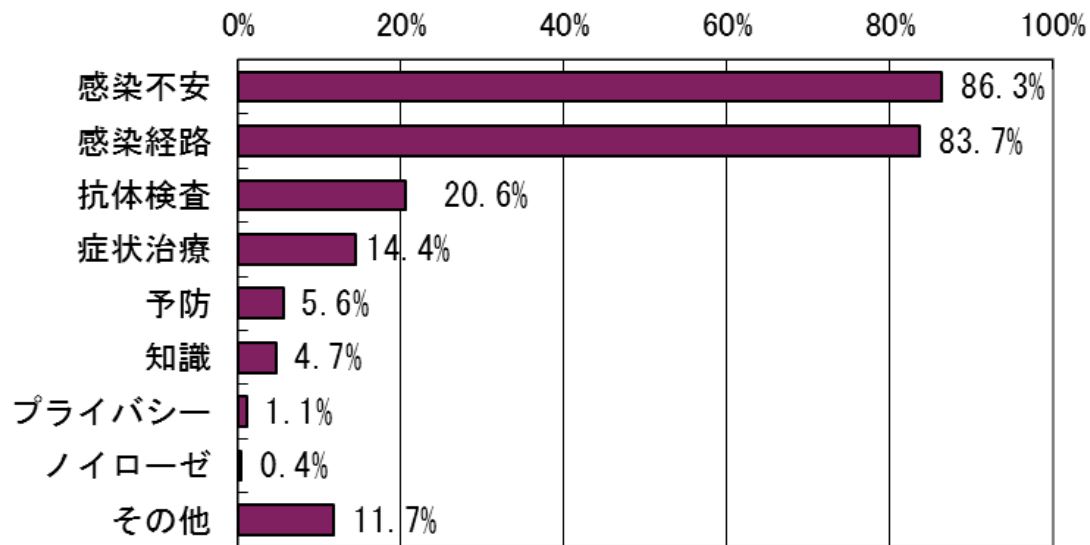


性別割合では、男性64%、女性約36%。昨年と比べ女性の割合が増えた。

年齢別に見ると、20歳代・30歳代が多い。30歳代以下の相談者が約60%を占めているが、昨年に比べ、全体に占める割合は減少している。40歳代、50歳代の割合が昨年に比べ増えた。

2-4
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
の相談内容
(平成29年)

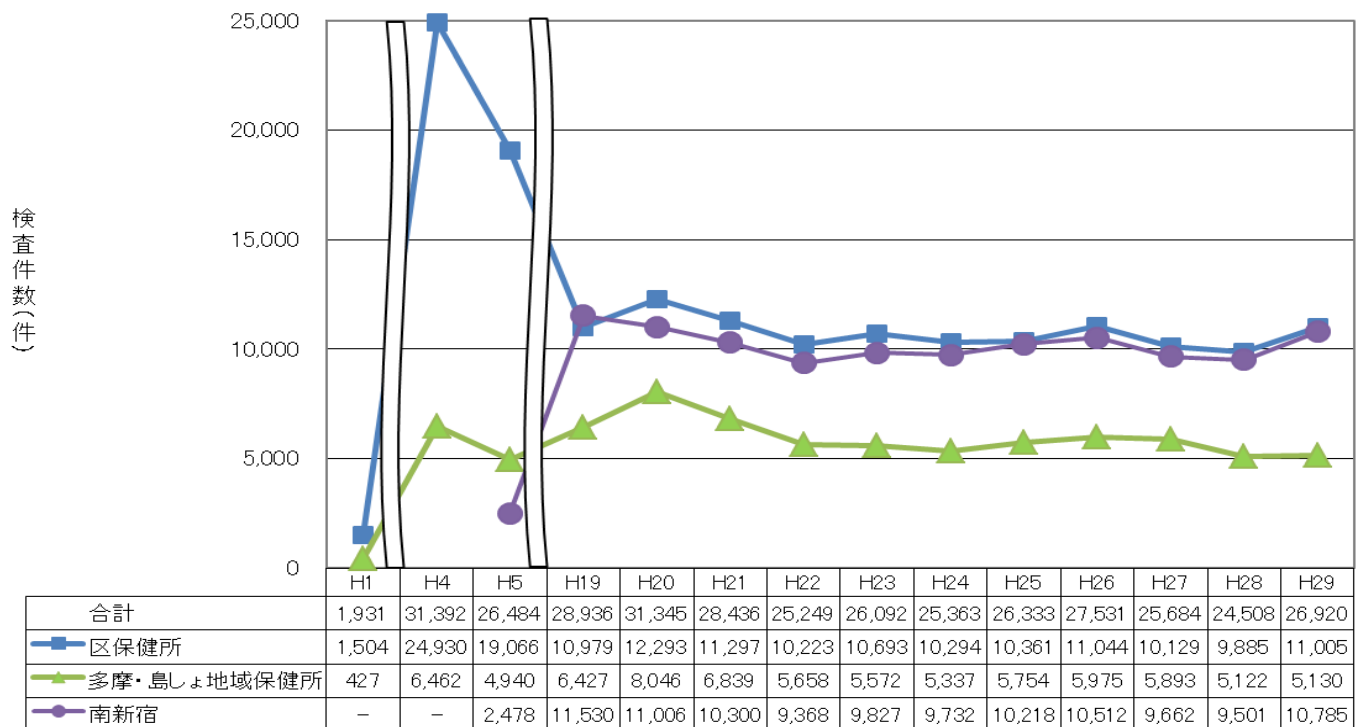
* 複数回答



東京都HIV/エイズ電話相談の相談内容は、感染不安と感染経路が飛びぬけて多い状況は、ここ数年変わっていない。なお、1回の電話で相談内容が多岐にわたることもあるため、複数回答で計上している。

[HIV検査]

2-5
東京都の
HIV検査件
数年次推移



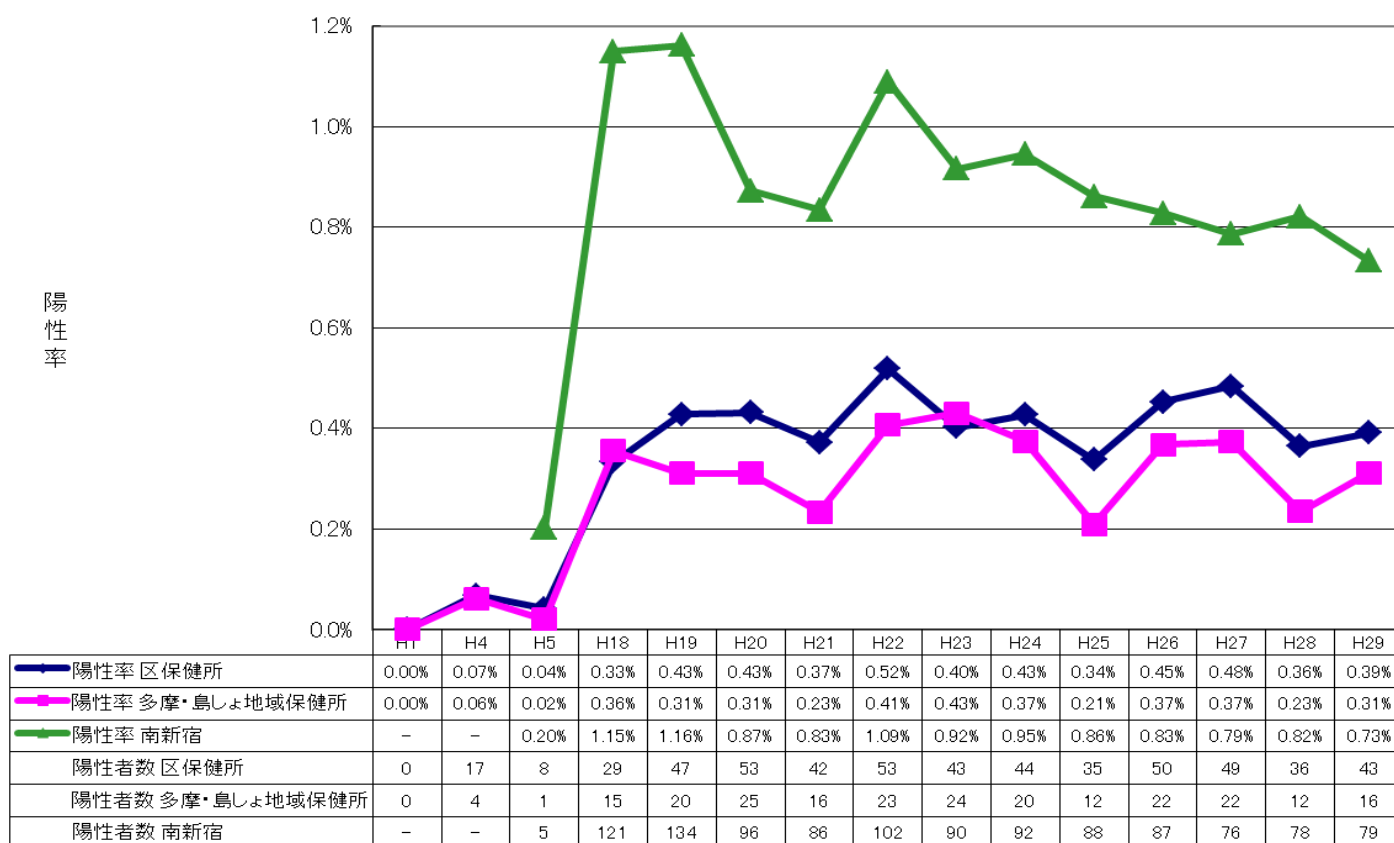
都内保健所(区保健所、多摩・島しょ地域保健所・南新宿)の検査件数合計は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後に減少し、その後横ばいの状況が続いていた。平成15年以降は再び増加していたが平成20年をピークに減少に転じ、平成22年からは約25,000件程度で横ばいで推移していた。平成29年は前年より増加し、26,000件を上回った。平成29年の検査件数合計では、前年比約10%の増加であった。

区保健所では、港区での委託検査開始(平成20年)などの動きもあり増加した後、平成21年以降10,000件台で推移していた。平成28年に10,000件以下となったが、平成29年は増加し、10,000件を上回った。

多摩・島しょ地域保健所では、多摩府中保健所での検査開始(平成19年)や、多摩地域検査・相談室の定着により増加していたが、平成21年より減少に転じ、5,000件台で推移している。平成29年は前年とほぼ変化がなかった。

南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは11,000件前後で推移していた。その後は、平成19年をピークに10,000件前後で推移している。平成27年に10,000件を下回ったが、平成29年は増加し、再び10,000件を超えた。

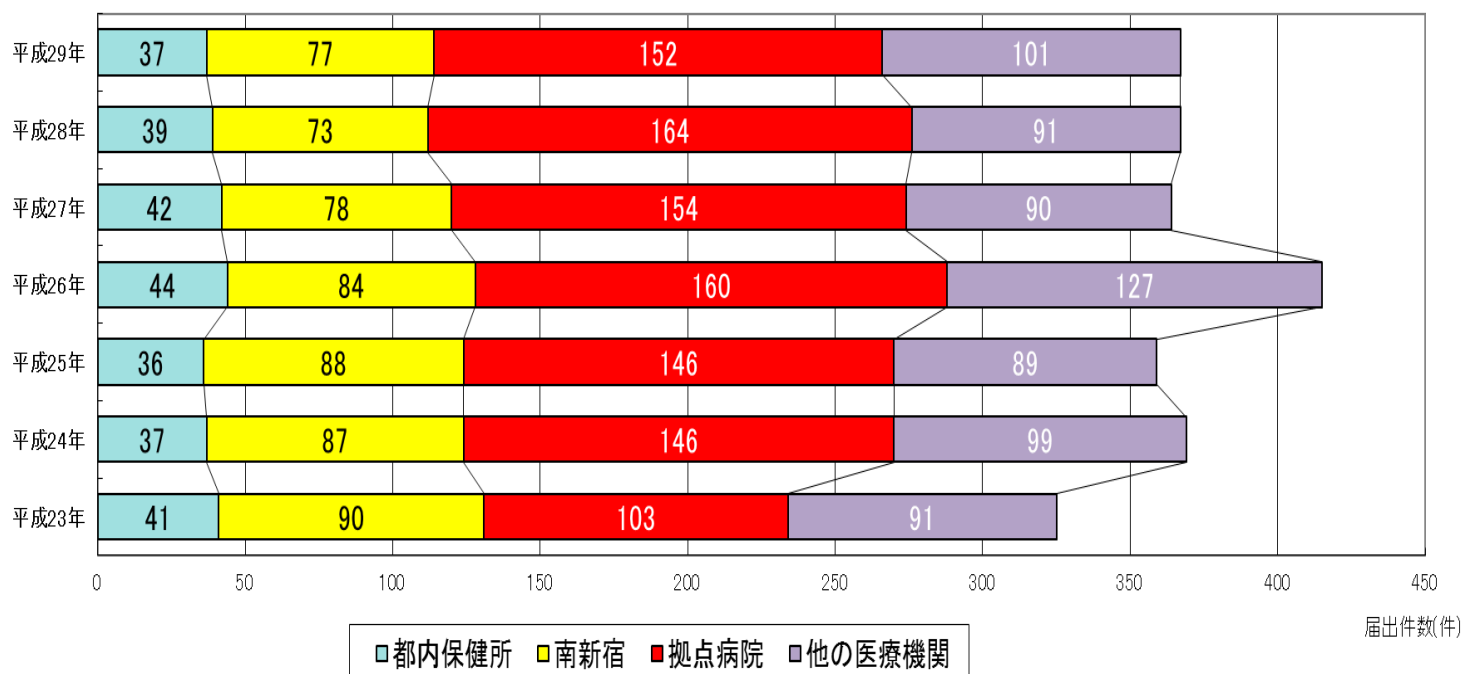
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



平成29年は、区保健所、多摩・島しょ地域保健所では陽性件数は前年より増加し、陽性率も高くなった。南新宿検査・相談室では、陽性件数は前年と比べ増加したが、陽性率は低下した。

[医療機関]

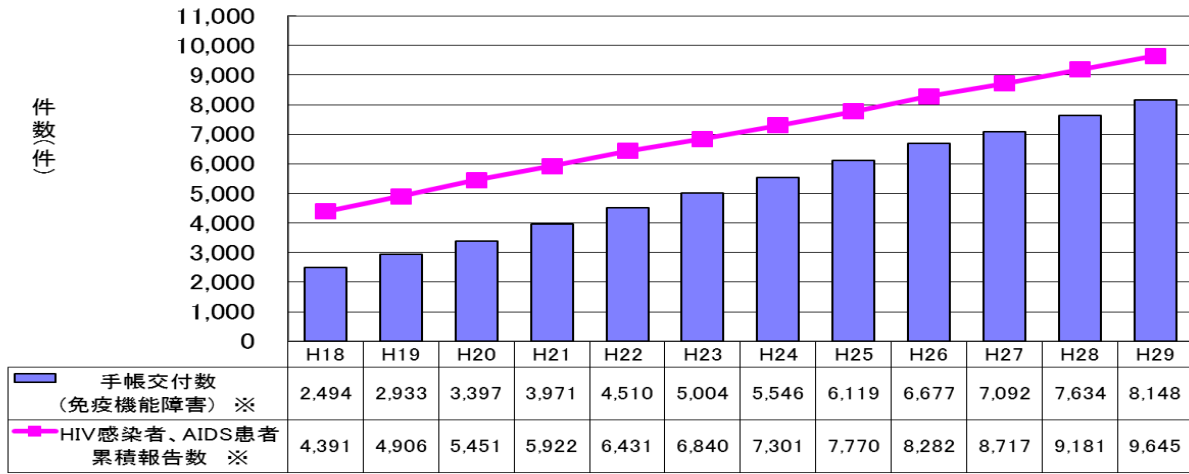
2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成23年
～平成29
年)



平成29年は、拠点病院からの届出件数が前年と比べ約7.9%減少した。南新宿検査・相談室からの届出件数は増加した。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都のHIV感染者、AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳(免疫機能障害)交付数年次推移



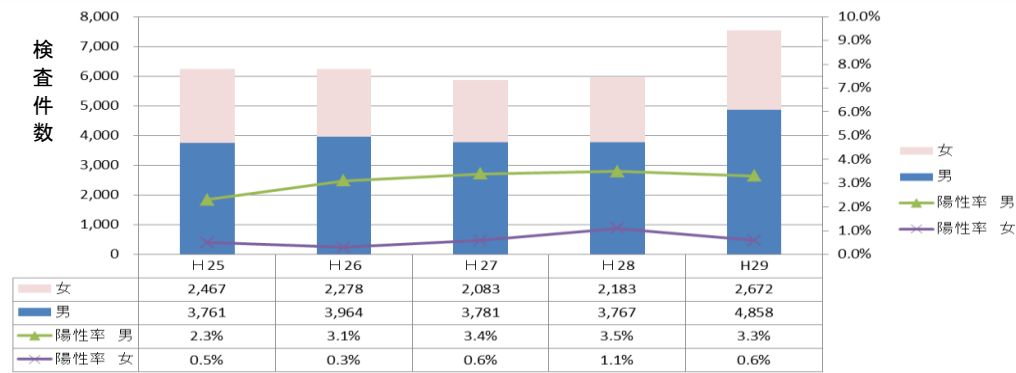
※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成29年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付数は前年に比べ514件増加した。

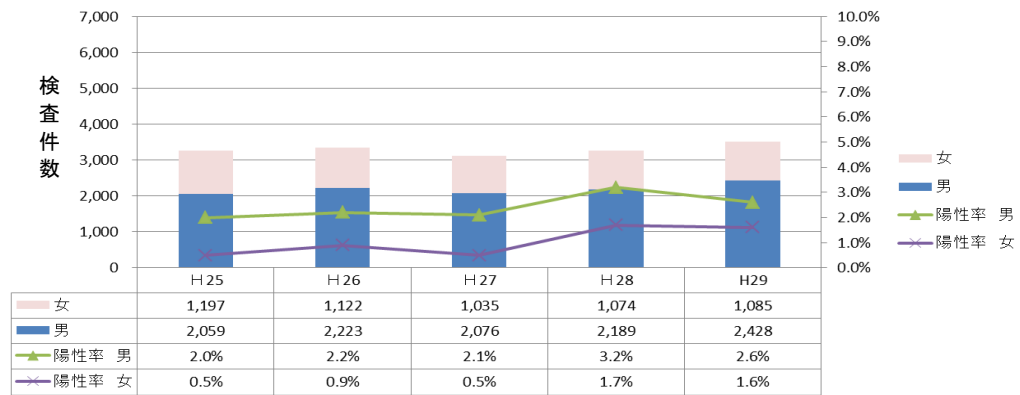
[性感染症検査]

2-9
東京都の梅毒検査における検査件数と陽性率の年次推移

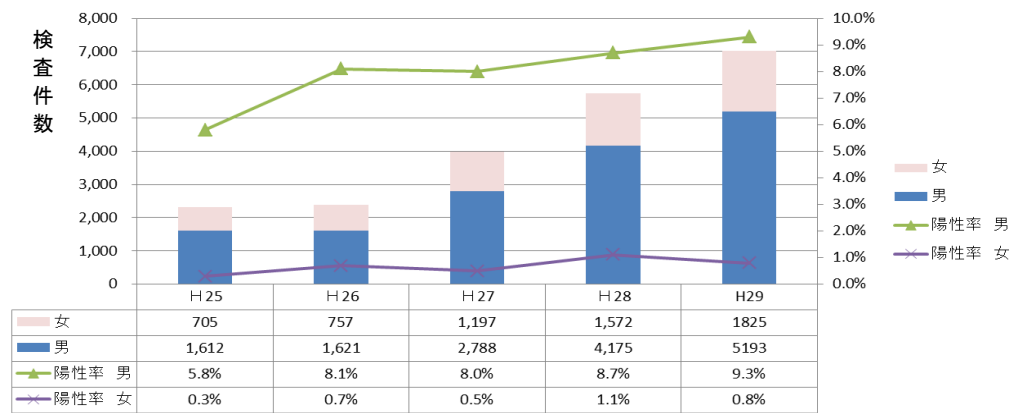
[区保健所]



[多摩・島しょ地域保健所]



[南新宿検査・相談室]



梅毒は、区保健所、多摩・島しょ地域保健所、南新宿検査・相談室すべてにおいて検査件数は前年より増加した。陽性率は、南新宿検査・相談室の男性のみ前年より高かったが、それ以外は前年と比べ低かった。

3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2016年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2017年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,670万人 (3,080-4,290 万人)

HIV感染者報告の累計数

19,896人

2016年における新規HIV 感染者数 (推計値)

180万人 (160-210 万人)

AIDS患者報告の累計数

8,936人

2016年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

100万人 (83-120 万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査・梅毒通常検査 (匿名・無料、電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午後3時30分から午後7時まで
土・日 (祝日を除く) : 午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査・梅毒即日検査 (匿名・無料、予約制及び先着順)

【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午前10時

【先着順検査】

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午後1時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金 : 午前9時から午後9時まで、土・日・祝日 : 午後2時から午後5時まで)

※HIV/エイズに関する相談・検査 (匿名・無料) は各保健所へ (一部性感染症検査も同時に可)

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp